

アジア進出成功の秘訣

日系企業のアジア進出のポイント

次の行き先最有力候補はベトナム

✓ **アジア進出、その目的は？**

現在、アジアに進出する企業が増加の一途です。それらの企業がアジアに目をつけた主な理由は、**人件費コストの低さ、優遇税制、購買意欲の高い若い世代への販売拠点としての魅力、現地市場の成長の可能性**などです。

国際協力銀行の調べでは、リーマンショック後の企業収益状況は、ロシア、EU、北米に比べ、中国やASEAN5（シンガポール、タイ、インドネシア、マレーシア、フィリピン）などのアジア諸国がいち早い回復傾向。中でも、中国やインドなどの主要な進出先に加え、**ベトナム、タイ、インドネシアなど、近隣の東南アジアへのプラスワンの進出が注目を浴びています。**

✓ **人件費コストの低さは大きな判断要素**

下図からも、アジアの人件費コスト

製造業の職種別 月額賃金一覧(2010年度調査) (千円):(1USD=85円)

都市名(国名)	ハノイ(ベトナム)	上海(中国)	ニューデリー(インド)	横浜(日本)
ワーカー(一般職)	8	26	25	263
エンジニア(中堅技術者)	23	52	58	382
中間管理職(課長クラス)	53	93	199	485
スタッフ(一般職)	32	60	45	
マネージャー(課長クラス)	86	135	131	

2010年 ジェトロ 投資コスト比較より

の低さがうかがえます。例えば、日本とベトナムのハノイの比較では、一般工員で日本は月額263千円に対し、ハノイは8千円で約32分の1。課長クラスの中間管理職でも日本は月額485千円に対し、ハノイは53千円で約9分の1となります。人件費コストは海外進出の大きな判断要素。アジアの人件費コストの低さは非常に大きな魅力なのです。

✓ **実は、なくなりつつある優遇税制**

一方で、アジア各国が外国企業の誘致目的で定めてきた「優遇税制」は、中国、マレーシア、ベトナムは日本との更新合意がないまま期限が到来し、「優遇税制」失効となりました。

現在、日本企業にとって優遇税制の適用がある国はほんのわずかです。例

えば、シンガポールでは減税・免税制度、フィリピンなどでは租税条約によるみなし外国税額控除制度、タイにおいてはこれら両方の制度が残っている程度です。

✓ **今、高い注目を浴びているのは、ベトナム**

今、中国の次に高い注目を浴びている国はベトナムです。ベトナムは、中国の真下の、香港に近い優位性の高い場所であり、チャイナプラスワンとして注目を浴びています。国民は親日的であり、手先が器用で向上心が強く勤勉。人件費は中国よりさらに低くなり、ここ数年、インフレが進んでいます。平均年齢は20代前半と若年層が多く、国民全体の消費意欲も高いため、将来的に労働力、消費需要が上がる国として非常に大きなポテンシャルを秘

めています。

✓ **アジア進出成功のカギを知る**

進出する「場所」、「人件費」コスト、課される「税金」は海外進出する際の大きなポイントです。また、進出後のポイントとなるのは「優秀な現地パートナーとの提携」、「販売戦略の徹底と市場への浸透」、「現地従業員の教育」。さらに「政府

との良好な関係」を築いていくことがアジア進出成功のカギになっていきます。一方、アジアへの進出はメリットだけでなく、法制、税制の不透明さ、人材確保の難しさ、インフラの未整備など、デメリットが存在することも知っておかねばなりません。アジア進出では、現地の風習や国民性を理解し、広い視野で臨む必要があります。経験ある専門家に確認しながら検討することを強くお勧めします。



執筆者 **福本 直樹**
ふくもと なおき

アクタスマネジメントサービス株式会社
アクタス税理士法人
ベトナムデスク 税理士

外資系企業を中心に国内の飲食店や医療法人に対し、設立支援から移転価格など幅広い税務・会計コンサルティングを提供。法人だけでなく、事業を営む個人、在日外国人への税務申告のサポートおよびコンサルティングも行っている。現在はベトナムに進出している日系企業に対し、現地に足を運び業務支援を行っている。

アクタスマネジメントサービス株式会社
創業/1989年 社員数/136名
業務内容/税務会計、国際税務、相続税、事業承継、企業再生、企業再編、証券化・流動化、経営指導、経理代行、人事労務コンサルティング、システムコンサルティング、人事労務アウトソーシング
URL / http://www.actus.co.jp
TEL / 03-3224-8888
Mail / info@actus.co.jp

最新ビジネス事情を知る ベトナム/カンボジア 進出セミナー

セミナー概要

海外進出と一口に言いますが、実は、考えなければいけないことがたくさんあります。進出形態、進出の方法、進出後の人材確保の方法、進出後の特典など数え上げればきりがありません。セミナー第1部では、日本企業のアジアを中心とした海外進出のポイントをお話します。このポイントを押さえれば、「海外進出の際に検討すべきことが具体的に整理できる」ようになります。

さらに第2部では、チャイナプラスONEで成長を遂げているベトナム、さらにベトナムプラスONEとしても注目をあび始めたカンボジアの最新ビジネス事情を、日本からの進出、現地の実務を踏まえてお話します。ベトナム/カンボジアの最新の投資環境、今後のトレンド、そしてビジネスで失敗しないための留意点をお話します。御社のグローバル戦略の立案に役立つこと請け合いです。

今回のセミナーのポイント

1. 日本から海外へ何を求めていくか
2. 海外進出形態のメリット、デメリットを学ぶ
3. ベトナム/カンボジア 投資環境(投資規制、会計税務等)を知る
4. 今後のトレンドをつかむ
5. 失敗しないための留意点を押さえる

日時

2011年10月24日(月)
14:30~17:00 (受付:14:00~)

第1部/14:30~15:15

『成功する海外進出の
要点を学ぶ
海外進出対策セミナー』

講師

アクタスマネジメントサービス株式会社
アクタス税理士法人
税理士 **福本 直樹**

セミナー実績
「海外進出 入門セミナー」

第2部/15:30~17:00

『ベトナム/カンボジア
最新ビジネス事情』

講師

I-GLOCAL グループ代表
公認会計士
(日本/ベトナム) **燕木 優典**

セミナー実績
「ベトナムにおける経営管理で留意すべきこと」、「ベトナム
ビジネス最新事情」、「カンボジアの税制について」
執筆実績
「ベトナムにおける移転価格税制の留意点」(月刊 国際税
務)、「中小企業のアジア進出の成功要因~ベトナムの事例
より」(機関誌 MICAジャーナル)「ベトナムにおける経理
の仕事で留意すること」(毎月刊誌 グローバル人づくり)

定員

先着**30名**

料金

無料

会場 都道府県会館 401号室
東京都千代田区平河町2丁目6-3
http://www.tkai.jp/

申込方法

Webサイトからお申込みください

http://www.actus.co.jp

アクタスマネジメント

検索

セミナーに関するお問い合わせ

Tel: **0120-459-480** Mail: seminar@actus.co.jp